

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 地域循環共生圏促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 脱炭素社会推進課 企画係 電話番号：058-272-1111(内2942)

E-mail：c11268@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額： 5,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	0	0	0	0	0	5,000	0	0
要求額	5,000	0	0	0	0	0	5,000	0	0
決定額	5,000	0	0	0	0	0	5,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

森林・河川など地域が有する「自然資源」、食糧生産・酸素供給などの生物多様性がもたらす恵みである「生態系サービス」、「資金・人材」などを活かして、自立・分散型の社会を形成しながらも、地域の特性に応じて地域資源を補完し支えあう「地域循環共生圏」について、市町村、団体・企業等の多様な主体が連携し、構想を推進するための支援を行う。

(2) 事業内容

事業主体自らが計画から実行まで行う、地域循環共生圏構想の促進につながる下記のような活動に対して支援する。

- ・地域循環共生圏構想を知り、広めるための事業(先進地視察、シンポジウム開催など)
- ・地域循環共生圏に関わる主体(市町村、企業、団体等)を増やしネットワークの構築をするための事業(セミナー開催、広報活動など)
- ・地域循環共生圏について戦略を立てるための事業(事業計画等の作成、地域の魅力を掘り起こす事業など)

(3) 県負担・補助率の考え方

清流の国ぎふ森林・環境基金対象事業

補助率：補助対象経費の10/10(上限：1,000千円、下限：300千円)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	地域循環共生圏促進事業費補助金
合計	5,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ－3 地域にあふれる魅力と活力づくり
(1)地域の魅力の創造・伝承・発信 — ②美しく豊かな環境の保全・継承
- ・第6次岐阜県環境基本計画
基本施策3 美しく豊かな環境との共生
(1)地域循環共生圏の創出支援

(2) 国・他県の状況

- ・国の第5次環境基本計画において、「地域資源を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かす『地域循環共生圏』を創造していくことを目指す」とされている。

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

豊かな森林・水環境などの地域特性を活かした地域づくりを、自ら企画・立案・実行する事業主体に対し支援することで、地域のニーズに基づいた活動を促進することができるため、県が支援することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	地域循環共生圏促進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、団体・企業等 （理由） 地域における課題やニーズに対し、地域住民と一体となって取り組むことが期待されることから、地域の事情に精通した事業主体を支援する。
補助事業の概要	（目的） 自立・分散型の社会を形成しながらも、地域の特性に応じて地域資源を補完し支えあう「地域循環共生圏構想」を推進する。 （内容） 事業主体自らが計画から実行まで行う、地域循環共生圏構想を促進する。
補助率・補助単価等	定率 （内容） 補助対象経費の10/10以内 上限：1,000千円、下限：300千円 （理由） 地域のニーズに基づく地域活動を促進するため
補助効果	地域の実情に沿った地域循環共生圏構想の促進
終期の設定	令和8年度 （理由） 第3期清流の国ぎふ森林・環境税の終期であるため

(事業目標)

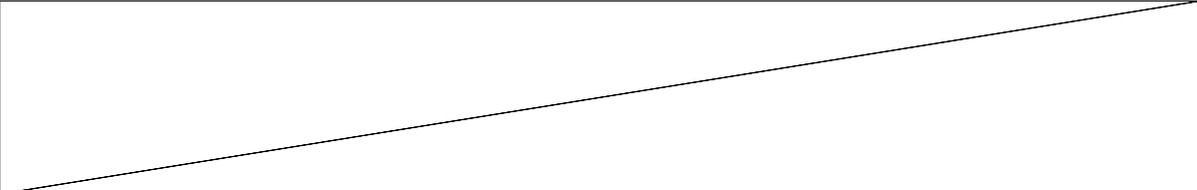
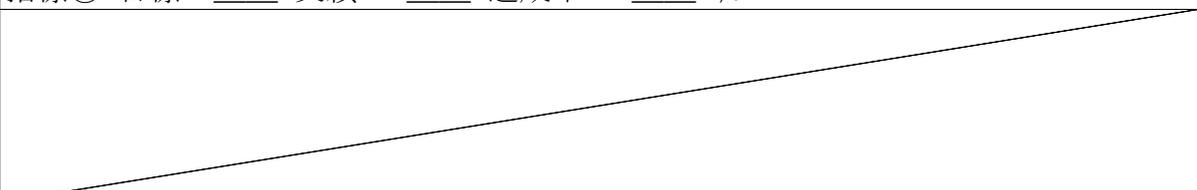
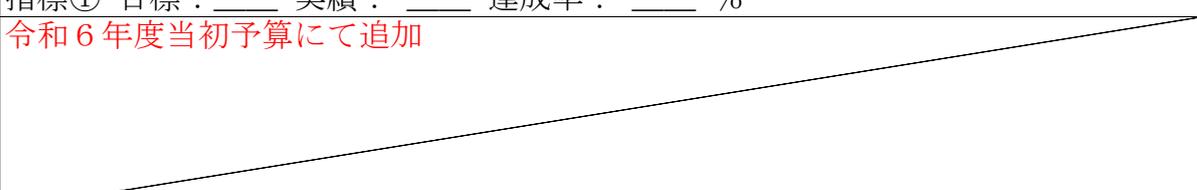
<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 自立・分散型の社会を形成しながらも、地域の特性に応じて地域資源を補完し支えあう「地域循環共生圏」が、県内各地で実現している。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
事業実施件数	0件	/	5件	10件	25件	/

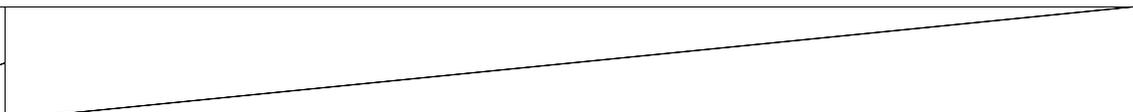
補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	豊かな森林・水環境などの地域特性を活かした地域づくりを、今後も継続的に推進していく必要がある。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	令和4年度は事業初年度ということで年度途中からの実施となったが、令和5年度からは年間を通じた活動に対して支援が可能となる。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 応募内容を精査し、より効果的な事業となるよう、助言等を行う必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 脱炭素化やSDGsに対する県民の関心の高まりを受け、環境・経済・社会の諸課題を統合的に解決する地域活動に対して、継続的に支援していく。</p>
